

■各地区の住宅除染の進捗状況

【平成28年1月1日現在】

地区名	予定件数	実施件数	進捗率	
和田	454	454	完了	
長屋	197	197		
高木	1,058	1,058		
仁井田	683	683		
関下	105	105		
松沢	118	118		
白岩	508	508		
稲沢	225	225		
糠沢	728	728		
荒井	513	396		77%
本宮	3,129	776		25%
青田	準備が整い次第、施工会社が訪問し、確認書を取り交わして除染作業が開始されます			
岩根				



本宮地区での住宅除染
手作業による表土除去の様子

住宅除染
糠沢地区が完了!

市内の住宅除染は順調に推移しており、糠沢地区の除染作業が完了しました。これで市内13地区のうち9地区での作業が完了しました。現在、荒井地区と本宮地区の2地区で除染作業を進めています。青田地区と岩根地区の2地区については、準備が整い次第、施工会社が作業の打ち合わせ、確認書の取り交わしに各戸を訪問しますので、ご協力をお願いします。



平成28年
1月13日発行
本宮市
秘書広報課
広報広聴係
☎24-5332

No.62

【市からのお願い】広報もとみや号外は、地震災害、放射能問題など市民の皆さんに広く周知するものについてお知らせしています。回覧される場合は、なるべく早く次の方に回覧していただきますようお願いいたします。

また、除染作業を行うには、意向調査書などの提出が必要となります。除染希望の方でまだ意向調査書などを提出されていない方は、ご提出をお願いします。

■除染作業にあたっては

敷地の事前調査や、確認書の取り交わしのため、次の職員などが訪問しますので、ご協力をお願いします。

○事前調査

(建物などの配置確認)
福島県土地改良事業団体連合会の職員

○作業の打ち合わせ・確認書の取り交わり
本宮市復興支援事業協同組合の施工会社

※その他、作業段階に応じて市の担当技術者が施工確認のため、訪問させていただきます。
また、除染作業開始までに敷地内の片付けをお願いします。

◆問い合わせ先

放射能除染・モニタリングセンター
☎6312682

■各地区の仮置き場の進捗状況

【平成28年1月1日現在】

地区名	整備数(予定)	現在の状況	地区名	整備数(予定)	現在の状況
和田	1	造成完了・搬入完了	松沢	1	造成完了・搬入完了
長屋	1	造成完了・搬入完了	糠沢	1	造成中・搬入中
高木	1	造成完了・搬入完了	本宮	1	造成中・搬入中
仁井田	3	造成完了・搬入完了	岩根	5	造成完了
関下	1	造成完了・搬入完了	荒井	1	近日造成開始
白岩	1	造成中・搬入中	青田	3	間もなく造成工事発注予定
稲沢	1	造成完了・搬入完了			

■搬入後の仮置き場の放射線量

【平成27年12月21日現在】

地区名	測定値(平均値) マイクロシーベルト/時	地区名	測定値(平均値) マイクロシーベルト/時
和田	0.07	仁井田(山田)	0.09
長屋	0.08	仁井田(下ノ原)	0.06
高木	0.13	仁井田(瀬戸川)	0.07
関下	0.07	稲沢	0.06

自分と家族の安全を守るために ～ 自主防災組織を設立しましょう ～

【災害から自分たちの地域を自分たちで守るために】

自主防災組織とは、住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的とし、自主的に結成する組織のことです。

自主防災組織は、日ごろから災害に備えた様々な取り組みを実践するとともに、災害時には、被害を最小限に食い止めるための活動を行います。

また、復旧・復興期には、自主防災組織と地域住民とが力をあわせて、自分たちのまちの再生に向けた様々な取り組みを行うことが大切です。

【本宮市では自主防災組織の設立を推進しています】

本宮市では、地域防災力の向上を図るために自主防災組織の設立を推進しています。

皆さん一人ひとりが地域の安全・安心を考え、いつ起こるかわからない災害に備え、地域の防災力を高めるために自主防災組織の設立について話し合いをお願いします。ぜひとも自主防災組織を設立し、地域の防災力を高めましょう。



【自主防災組織の平常時と災害時の活動例】

平 常 時

- 防災に対する心構えの啓発
(回覧板を使った啓発など)
- 災害発生の未然防止のための地域活動
(地域の巡回など)
- 災害発生に備えて地域を知るための活動
(避難場所や要配慮者の把握など)
- 災害発生時の活動を習得するための活動
(消火、避難訓練、炊き出し訓練など)
- 災害発生時の活動に備えるための活動
(機材や備蓄品の管理など)

災 害 時

- 情報収集伝達活動
(救援情報の伝達など)
- 初期消火活動
(消火器による消火活動など)
- 避難誘導活動
(安否確認や配慮が必要な人への援助など)
- 救出救護活動
(負傷者の救護など)
- 給食給水活動
(救援物資の避難所への運搬・分配など)

下の表は阪神・淡路大震災時に建物倒壊などから救助された割合を示しています。

生き埋めや閉じ込められた際の救助割合

自力	家族	友人・隣人	通行人	救助隊	その他
34.9%	31.9%	28.1%	2.6%	1.7%	0.9%

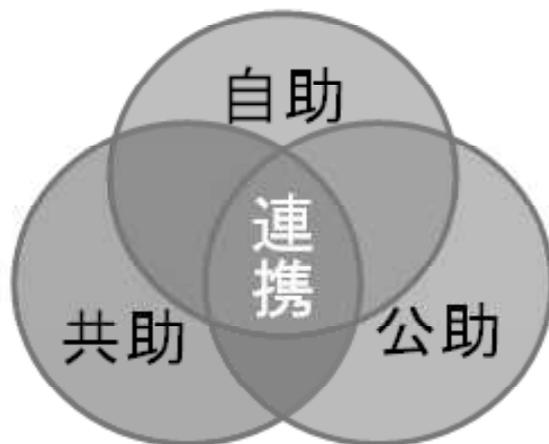
「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」（平成8年11月日本火災学会）より

大規模地震などの発生直後には、公助が間に合わないことがあります。自らの命を守ったあとに、地域の安全を地域で守ることが重要です。

【自助・共助・公助の連携が重要です】

大規模な災害が発生したとき、被害を最小限に抑えるためには「自助」「共助」「公助」がうまく連携することが重要だといわれています。

自助	→ 自分の命（家族を含む）は自分で守ること
共助	→ 自分たちの地域は自分たちで守ること
公助	→ 市や消防・警察などの行政による救助や支援のこと



防災の基本は「自分の身の安全は自分で守る」ことです。「自助」「共助」「公助」が役割を分担し、それぞれの足りない部分を補いながら防災対策を進めていくことが大切です。

【本宮市にお住まいの皆様へのお願い】

市民の皆様には「自助」「共助」「公助」が連携し、災害に強いまちづくりを行うために、次の取り組みをお願いします。

平 常 時

- 食料や飲料水の備蓄（約3日間分）
- 生活に必要な持出し品や備蓄品の準備
- 防災訓練や防災研修等への積極的参加
- 地域の住民同士でコミュニケーションを図る
- 東日本大震災や水害などの過去の災害で得られた教訓を後世に伝承する
- 常日ごろから防災意識を持って行動する

災 害 時

- 災害の発生が予想されるとき、発生したときは安全を確保しながら避難する
- 避難の際は市および防災関係機関（自衛隊、消防署、警察署、消防団など）の指示のもと行動する
- 防災行政無線や各種報道機関の情報を収集し、適切に避難する

◆**問い合わせ先** 防災対策課 消防防災係 ☎24-5365
 白沢総合支所 市民福祉課 生活安全係 ☎44-2114

井戸水のモニタリング検査について

飲用の井戸水の測定を希望される方は、専門機関へ依頼し、測定を実施しますので、事前に電話でお問い合わせください。
 なお、検査にかかる費用は無料です。

◆**問い合わせ先**
 放射能除染・モニタリングセンター
 ☎63-2682

水道水のモニタリング検査結果について

市の水道水については、週3回（月、火、金）検査を行っており、放射性物質は検出されていませんので安心してご利用ください。

◆**問い合わせ先**
 上下水道課 上水道係
 ☎24-5412

市内自家用農産物のモニタリング状況 平成27年12月分

■非破壊式測定器【きざまずに測定】上位10品目

No.	品名	件数	検出されたものの内訳			
			検出数	最小値	最大値	100ベクレル以上の検出数
1	干し柿	8	検出された品目はありませんでした 検出限界値 25ベクレル/キログラム			
2	キウイフルーツ	5				
3	ユズ	5				
4	人参	4				
5	白菜	4				
6	大根	3				
7	ネギ	3				
8	柿	2				
9	里芋	2				
10	ジャガイモ	2				

■破壊式測定器【きざんで測定】上位10品目

No.	品名	件数	検出されたものの内訳			
			検出数	最小値	最大値	100ベクレル以上の検出数
1	小豆	6	検出された品目はありませんでした 検出限界値 10ベクレル/キログラム			
2	白菜	5				
3	大根	2				
4	豆(ささぎ豆)	2				
5	青豆	1				
6	キウイフルーツ	1				
7	キャベツ	1				
8	黒豆	1				
9	小松菜	1				
10	里芋	1				

【測定の予約をお願いします】

1日に測定できる農作物数には限りがあるため、お手数でも事前にご相談で予約してから、測定所へおいでください。

【持ち込む際のお願い】

検査品目を持ち込む場合、よく洗って泥や土、汚れなどを落とすとしてください。洗浄していない物や洗浄が不足して土などが付着している物を検査した場合、放射性物質が検出される場合があります。

市では、基準値に近いかそれ以上の場合は、再度測定をお願いや聞き取りを行ってまいりますので、ご協力をお願いします。

【測定の申込み先】

▽本宮市放射能除染・モニタリングセンター

☎ 本宮字万世26-13
63-12682

▽白沢測定所

和田字石上127

☎ (白沢老人福祉センター内)
44-2706

▽荒井測定所

荒井字茶園5

☎ (荒井地区公民館内)
24-8781

◆問い合わせ先

放射能除染・

☎ モニタリングセンター
63-12682

お詫びと訂正

広報もとみや12月号掲載内容に誤りがありました。お詫びして訂正します。

P5 「IV. 人口の将来展望は？」内の将来人口の推計グラフの凡例

【誤】実線（黒）：年少人口、破線（水色）：生産年齢人口

【正】実線（黒）：生産年齢人口、破線（水色）：年少人口

IV. 人口の将来展望は？

社会動態と自然動態の仮定値を設定し、市の人口の将来を展望しました。中でも最も高い仮定による推計人口24537人（2060年）を視野に入れつつ、地域や時代のニーズ等に応じた社会・自然増加策を講じ、さらなる上昇を目指していきます。

